

「場所・感覚・メディア」プロジェクト

×

映像表現ワークショップ

Workshop "The Art of Audiovisual Storytelling"

■講師：川瀬 慈（国立民族学博物館人類基礎理論研究部・准教授）

■概要

本ワークショップの目的は、イメージやサウンドを用いて“物語る”方法を学ぶことである。まず前半は、B.ニコルスによるドキュメンタリーモードの類型化についての理論を批判的に援用しつつ、フィクション映画からドキュメンタリー映画、民族誌映画、ヴィジュアルアート作品に至る様々な映像表現の様式を分析する。そして、それぞれの映像表現の背後にある制作者のねらいやモンタージュ等の技法を比較検討し、それぞれの表現の効果について考察する。後半はワークショップ参加者がグループにわかれて、iPhoneを用い、実際に映像で物語る実習を行い、短い作品を制作する。最後にそれらの作品の発表・議論を行う。

■講師プロフィール

岐阜県出身。専門は映像人類学、アフリカ研究。博士（京都大学）。エチオピアをはじめとするアフリカの音楽・芸能の人類学研究を軸に、民族誌映画の制作に従事。代表作に『ラリベロッチ』、『精霊の馬』、『Room11, Ethiopia Hotel』（イタリア・サルデーニャ国際民族誌映画祭にて「最も革新的な映画賞」受賞）。徳島の民謡や岐阜のわらべ歌の伝承と創造をテーマにした新作を編集中。近年は、王立中央アフリカ博物館、ルートヴィヒ美術館、NETWERK,centre for contemporaryart 等において特集上映が組まれた。英国王立人類学協会国際民族誌映画祭審査委員（2009）、ゲッティンゲン国際民族誌映画祭審査委員（2012、2014）、第6回恵比寿映像祭ゲスト・プログラマー（2014）。
<http://www.itsushikawase.com/japanese/>



- ・日時 6月3日（土）13:00~17:00（参加費無料）
- ・場所 IAMAS(大垣市今宿6丁目52番地18 ワークショップ24 5F R-CAFE)
- ・持ち物 iPhone(スマートフォン)・筆記用具・ノート
- ・連絡先 yuzawa16@iamas.ac.jp（担当：湯澤）
- * 学外から参加されます方は、お名前・所属・参加人数を上記メールアドレスまでお送り下さい。
- * 当日はiPhoneにアプリを入れる作業があります。

【主催】

情報科学芸術大学院大学 「場所・感覚・メディア」プロジェクト
研究代表者：前林 明次